

# 中学校第2学年 道徳学習指導案

学習指導者 高松市立国分寺中学校 神高 真由美

1 単元名 「明日、みんなで着よう」(公正、公平、社会正義)

2 単元計画(総時数 1時間)

- 「ピンクシャツデー」の取り組みときっかけを通して、誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことを考える。(1時間)

3 授業の見どころ

本校では「国中協同学習」を全校で実施しており、生徒が主体的に学び合う授業展開を工夫している。ペア学習やグループ活動などを取り入れ、対話の時間を設定することで自分の思いを語らせる機会を作るようにしている。本時では、ペア学習、グループ学習や一斉学習で生徒同士の対話の時間を設定し、互いに考えを話し合わせることで、新しい見方や考え方に気がつくように工夫する。

4 本時の学習指導

(1) 目標 「ピンクシャツデー」の取り組みとトラヴィスたちの思いについて話し合う活動を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことを考えることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動と生徒の意識	教師の指導
1 学習課題を確認する。	○好きな色を聞き、一人一人違っていることを確認する。
<b>学習課題 誰もが安心して過ごせる社会にするためにはどんなことが大切だろう？</b>	
2 本文を読み、登場人物それぞれの行動について考える。 ○ 学校がピンク色に染まったのは、どのような思いがあったのかについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピンクのシャツでいじめられるのはおかしい。</li> <li>・一人じゃ無理だけど、みんなでなら。</li> <li>・いじめられた子に味方がいることを伝えたい。</li> <li>・これくらいならできるかも。</li> <li>・自分にできることはしたい</li> </ul> ○ いじめられていた男子学生の思いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・味方がいてほっとする。安心した。</li> <li>・うれしい。</li> <li>・自分も誰かの力になりたい。</li> </ul>	○ワークシートに簡単に記入させた後、ペアで交流し、全体で意見交換する。 ○「ピンクシャツデー」について確認し、トラヴィスたちの思いや、それに賛同した人たちの思いを考えさせる。 ○いじめた人だけを攻撃するのではなく、いじめ全体がだめなことであることに気づかせる。 ○自分にできることで誰かの力になりたいという思いを表現するものであることに気づかせる。 ○傍観者の意識を変えることが大切だということに気づくように助言する。 ○トラヴィスたちの思いが、男子学生に届いていることを確認する。 ○いじめた人、いじめられた人、周りの人それぞれにとって「ピンクシャツ」の取り組みが効果的だということを確認する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>指導の重点項目</b>                      3 誰もが安心して暮らせる社会にするために、自分にできることを考える。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かのことでなく、自分ごととして考える。</li> <li>・自分ができるところをやる。</li> <li>・相手がしてほしいことを考えて行動する。</li> </ul> </div>	○自分のこととして考えるように助言し、考えをワークシートに書いてまとめさせる。 ○グループで交流することで新しい見方や考え方に気がつくようにする。 ○自分ならどうしてほしいか、何ができるかを考えるように声をかける。
4 本時の学びについて振り返る。	○自分で考えたことや友だちの考えを聞いて、自分がこれから、どのようにするかを考え、自分の「宣言」を掲示できるように作成させる。